

## 【とうきょう すくわくプログラム活動報告書】

園名:すぎなみのぞみ保育園(2歳児クラス)

活動日時:5月26日(水)10:00~

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

色々な感触を体験してみよう!  
~触って比べたら、どんな発見があるかな?~

<テーマ設定理由>

パズルやひも通し、粘土など手先・指先を使って様々な机上遊びを好む2歳児クラスの子どもたち。  
製作を行った際に、糊を使っていると『ベタベタするね~』と声上がる姿から手・指先にテーマにしました。

### 2. 活動スケジュール

2歳児 6名(欠席2名のため、参加は4名)

- ・スライムを作り、感触を楽しむ。
- ・小麦粉粘土と比較して、違いや変化を知る。

### 3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

【道具】洗濯のり、重曹、泡ハンドソープ、小麦粉、水、桶、食紅

【設定】一人ひとつの桶を用意し、じっくり楽しめるようにする。

### 4. 探究活動の実践

<活動内容>

まず、スライム作りを保育者が説明しながら子どもたちと洗濯のり、重曹、泡ハンドソープなど一緒に一つの桶に入れて混ぜていく。  
普段手洗いでつかっているハンドソープがスライムの中に入ることを知ると驚く姿があった。  
スライムは少し緩く仕上がったが、小麦粉粘土との比較が分かりやすく色々な発見をしていた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもたちと分担して、洗濯のり・重曹・泡ハンドソープを混ぜていく。泡ハンドソープを使うことを伝えると『おてて、洗えなくなっちゃうよ』と心配する子どもの声もあった。混ぜていくとゆっくりと固まっていく姿に驚きながらも、触ってみると『つめたい』『ベタベタ』など声が上がっていた。

ベタベタするね!



他の子どもたちの様子から触ることに抵抗がある子どもは、友達や保育者の様子を観察し、反応を見て楽しむ。途中で食紅を入れ色付けするとさらに集中して触っていたり『ピンクになった!』『青になったよ』と会話になっていた。

ベタベタしないねえ!



その後、小麦粉粘土も作り、スライム同様に色付けをする  
と『こっちはベタベタしないね』と変化を知り、違いを知ることが出来た。

### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回、手先を使った遊びを好むクラスの様子からテーマを『手先・指先』を使った活動にした。  
環境設定として、最初は桶を人数分用意したが友達と一緒に触りたい様子が見られたため、二人で一つ使う形に変更した。  
触ることから、色々な言葉や会話につながる様子が見られたことは予想よりも反応がよく見られ、楽しむ姿が多く見られた。  
そのため次回は、スライム作りで使った洗濯のりと絵の具を用いて、手先・指先から全体を使ったボディペイントを行っていきたい。